



シングル・コーヴ

南緯60度39分 西経45度34分

コロネーション島南岸にあるアイスバーグ湾の北西岸に位置する小さな入り江。

主な特徴

- アデリーペンギン
- 植生
- 営巣中のユキドリ



概要

地形	シングル・コーヴの南西部には低い崖が連なり、入り江の両端の礫浜から高台にあがることができる。礫岩や小石のがれ場からなり、石英や長石の薄い層の際だつ變成片岩が露出している。深紅のガーネットや深緑色の角閃石などの變成鉱物が裸眼で確認できることもある。
動物相	繁殖が確認されている種: アデリーペンギン (<i>Pygoscelis adeliae</i>)、マダラフルマカモメ (<i>Daption capense</i>)、ユキドリ (<i>Pagodroma nivea</i>)、ナンキョクオオトウゾクカモメ (<i>Catharacta</i> , spp.)、サヤハシチドリ (<i>Chionis alba</i>)。 繁殖の可能性のある種: ナンキョクジラドリ (<i>Pachyptila desolata</i>)、ミナミオオセグロカモメ (<i>Larus dominicanus</i>)、アシナガウミツバメ (<i>Oceanites oceanicus</i>)。 定期的上陸: ミナミゾウアザラシ (<i>Mirounga leonina</i>)、ナンキョクオットセイ (<i>Arctocephalus gazella</i>)
植物相 (植生)	がれ場やペンギンのコロニー付近の植生密集地を中心に、これまでに49種が記録されている。この中にはナンキョククロヒゲゴケ (<i>Usnea Antarctica</i>)、オオロウソクゴケ種 (<i>Xanthoria</i> spp.)、ダイダイゴケ種 (<i>Caloplaca</i> spp.) など、17種類のコケ類と19種類の地衣類があり、これらの植物はコロニーの下の岩場でも見ることができる。維管束植物であるナンキョクコマススキ (<i>Deschampsia antarctica</i>)、ナンキョクツメクサ (<i>Colobanthus quitensis</i>) もここで記録されている。
その他	沿岸部に危険な岩や岩礁がある。

訪問者の影響

既知の影響	なし。
潜在的影響	野生生物への攪乱、植生の踏みつけ、ミズナギドリの巣へのダメージ、踏みつけた跡に小道が残ること。

上陸要件

船舶*	乗客200名以下の船舶。一度に1隻の船舶のみ。 1日あたり (午前0時から翌午前0時まで) 最大2隻。
訪問者	探検ガイドとリーダーを除き、常に上陸は一度に100名以内。訪問者20名あたりガイド1名。野生生物の休息時間確保のために、22時から4時 (現地時間) の間は上陸できない。

訪問地区

上陸地区	第1候補: 入り江のなかの訪問地区の北端で、ミズナギドリの営巣する低い崖に挟まれた小さなビーチ。 第2候補: ペンギンコロニーの南側。岩礁に護られた礫浜で、大きな波をかぶることも多い。
閉鎖地区	閉鎖地区A: 営巣・繁殖中のミズナギドリのコロニーに通じる主要経路の上下に広がる脆い岩場。 閉鎖地区B: 営巣・繁殖中のミズナギドリのコロニーから内陸に入った大きながれ場の斜面。 閉鎖地区C: アデリーペンギンのコロニーの後方にある植生密集地帯。
ガイド付き徒歩地区	アデリーペンギンのコロニーへは決められた経路を通り、ミズナギドリの営巣地に立ち入らない。 コロニーへはガイドの指示によく従い、少人数で向かうこと。コロニー地区への立ち入りは、同時に20人以内のグループが2グループまで。 上陸地区のビーチから接近できるミズナギドリの巣を観察するために、沿岸の崖の下に近づいてもよい。ただし、小人数のグループ (20人以下) で行動し、繁殖中のミズナギドリを攪乱しないようきわめて慎重に行動すること。常に下方から近づき、礫などを動かさないようにすること。 フラッシュ撮影は禁止。
自由散策地区	上陸地区のビーチでは自由に散策が許されている。

*: ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。



シングル・コーヴ

南緯60度39分 西経45度34分

コロネーション島南岸にあるアイスバーグ湾の北西岸に位置する小さな入り江。

訪問者の行動規範

上陸後の行動

ゆっくりと注意して歩くこと。野生生物からは5m以上の距離を保ち、動物に道を譲ること。動物の挙動に変化が見られたら、さらに距離を置くこと。

海岸にいるペンギンを追い立てることにならないよう注意すること。

注意して歩き、踏みつけられることで影響を受けやすい植生を踏まないこと。

注意事項

強風や潮の満ち干により、氷塊や砕氷が急に海岸に打ち上げられる可能性がある。また、潮の満ち干により、浮氷の小さな塊や小さな氷山が浅瀬に座礁する可能性もある。これらは座礁したり、またその後再び漂流する間に、突然砕けることがある。



アデリーペンギンのコロニー



上陸第一候補地区



上陸第一候補地区からの歩行経路

